

平成 2 4 年度学校評価報告書

平成 2 5 年 3 月 2 9 日

北海道浜頓別高等学校長
田 村 二 郎

次のとおり平成 2 4 年度の学校評価について報告します。

1 本年度の重点目標

- (1) 進んで学習に取り組む意欲・態度を培い、自ら学ぶ心の育成に努める。
- (2) 基本的生活習慣を身につけるとともに、奉仕の心の育成に努める。
- (3) 何事にも積極的に参加し、困難に打ち克つ、健康な心の育成に努める。

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
学習指導	・道立高校間連携等の取組もあり、少人数指導、習熟度別授業等を充実させることができた。 ・今年度、生徒による授業評価を実施した結果、家庭学習に対する取り組みが不十分だということが判明した。	・地域の願いを踏まえた教育活動の評価が高いが、今後も地元から大学進学を目指せる体制を維持していただきたい。 ・学校図書館の利用に関する評価が低いですが、今後とも読書活動等に対する指導の充実を希望する。
改善方策	シラバスの配布時期を学期開始直後とし、活用を促進することにより、学習に対する意識を向上させ、家庭学習時間の増加を図る。	
進路指導	・進学者向けに特進コース講習を開講し、進路指導の活性化を図った。 ・インターンシップやキャリア卒業研究など、キャリア教育を積極的に推進し、成果を上げた	・地域でも特進コース講習に関して期待する声が多く聞かれる。今後充実をお願いしたい。 ・進路希望達成 1 0 0 % が今後も続くよう、努力をお願いしたい。
改善方策	キャリア教育は今後さらに推進する。	地域の企業との日常的連携を深める。
保護者・地域との連携	・P T A 活動の活性化について、様々な工夫を行っているが、参加者の増加にはつながっていない。 ・学校ホームページや新規発行の学校情報紙などにより学校の情報を地域や保護者に発信する機会を増やした。	・P T A の活動が消極的であると評価されているが、今後活動を充実させてもらいたい。 ・学校ホームページの更新頻度が高く、楽しみにしている。今後とも情報発信に努力し、浜高の魅力をアピールしてほしい。
改善方策	更に魅力ある取組を創意工夫する。	広報活動を工夫充実させる。
公表方法	学校ホームページ・学校だより第 1 号・第 3 回評議員会において公表	